

福津市の貴重な動植物



ハマガニ



カブトガニ



クロツラヘラサギ



アマモ



ハマボウ



アカウミガメ

ウミガメと 生きる都市

Baton to the future

未来につなぐ幸福のバトン

1

今一度考えたい
たくさんの自然と生命が
ともに生き続ける福津市へ

全国唯一の「うみがめ課」で
福津市の環境を
大切に守っています

津屋崎干潟は、砂の多い場所や泥の多い場所が混在していることで多くの生き物が生息する全国的にも非常に貴重な干潟ですが、漂着ゴミなどでハマボウの生育やカブトガニの産卵にも影響を与えるなど多くの危機に直面しています。大切な地域遺産を後世に引き継いでいくため、干潟まもり隊では長きにわたり地域や市と協力して、清掃活動や自然観察会、植物の生育保護に取り組んできました。最近では、企業も環境意識が高まり多くの協力があって大変助かっています。地域のかた、若いかたと一緒に干潟や松林の命を守ってほしいと願っています。



干潟まもり隊
寺島龍海さん

© 国立大学法人九州工業大学 伊東啓太郎研究室 花田希里絵



子どもたちが環境を考えるきっかけを作るべく、小・中学校での環境教育を行っています。小学校では、松林の問題を身近なこととして積極的に質問があたり、中学校では、漂着ゴミや稀少生物などについて研究発表が行われていたり、光陵高校の生徒がうみがめ課に環境問題について尋ねにきたりと活発です。中でも、福津市のうみがめ保護の様子や「ふくつの自然を考える本」が全国の小学校の教科書に掲載されたことは、子どもたちにとって誇らしい出来事でした。これからも生活の一部として環境を考え「暮らしと自然が織りなすまち福津」を市民の皆さんと一緒に目指していきたいと思っています。

福津市の環境の取り組みが
全国の小学校教科書に掲載

旧津屋崎町では、うみがめが産卵に来る貴重なまちであったことから、住民が親しみを持って環境を考えるきっかけとなるよう「うみがめ課」を発足しました。合併後も福津市では、環境全般に係るさまざまな活動を行っています。中でも「ラブアース・クリーンアップ」は、毎年多くの市民参加がある代表的な取り組みです。また、市内に数多く存在する環境団体、ボランティアの活動によって福津市の環境が守られてきました。市民間においても日頃から自発的にゴミ拾いをする姿が見られるなど環境意識の高い都市です。アカウミガメについては、残念ながら近年産卵の報告も少なく目撃はありませんが、負傷したアカウミガメの保護などを継続的にを行っています。美しい海岸だけでなく、福津市は干潟や里山など守るべき生態系が多くつながっていて、ゼロカーボンを含め地球規模の取り組みも始まっています。

全国唯一の「うみがめ課」
を有する福津市の環境



福津市うみがめ課

PICK UP
福津市
環境基本計画



「暮らしと自然が織りなすまち“ふくつ”」を基本理念に、受け継がれてきた豊かな環境を未来へとつないでいきます。



3



4



2

①海岸清掃を行う「砂草を守る会」
②カズミサンショウウオの研究を行う光陵高校「うみがめクラブ」
③上西郷川で子どもたちと生き物の観察をする「上西郷川日本一の郷川をめざす会」
④藻場のウニを駆除しブルーカーボンを創出する取り組みを行う漁師・宗像漁協津屋崎支所・トヨタ自動車九州の皆さん

広がる環境活動



1

PICK UP
ふくつの自然を
考える本



豊かな自然や生態系を100年後の世代に残そうと福津の自然環境について2年がかりで調査し制作した「ふくつの自然を考える本」。



2



4



1



3

これまでの取組



- ①毎年市内全域で行うラブアース・クリーンアップ
- ②ふくつの自然を考える本を制作
- ③「環境フォーラム」で環境について考える機会を創出
- ④地球にやさしいゴミ分別方法を構築

